

籠のはな

a  
個

たくさんのぺんぺん草を花輪にし野良猫たち  
に被せてまわる

花の夜 烏龍茶越しに見た世界 白く浮いてる  
サザンカめく日

部屋いっぱいの花束を散らしてまわる巡回  
の鳩

コミックの斜線の入った頬の上 押し花と  
なる桜の花びら

白鳥座目指して歩く線路沿い そつと並んだ  
ハナミズキたち

輪の中に入れない花一輪を踏んで回った蟻  
の速度で

汽笛鳴る気がして歩く花束を抱えて歩く山  
下公園

四時半の紙芝居屋のいる道をケシの色した  
夕日が染める

真つ青なネモフィラの顔した女たち プリ  
ーツ広げ駆け抜けていく

吐き捨てたガムの裏側張り付いた何色なの  
かわからぬ花弁

向日葵と桜の花と紫陽花がいつぺんに咲く  
地獄の季節